

平成27年度
教育委員会の点検・評価報告書
(平成26年度事業対象)

平成27年8月
葉山町教育委員会

目次

1	はじめに	2
2	趣旨	2
3	教育委員会の活動内容について	
(1)	教育委員会会議の開催状況	3
(2)	教育委員会会議での審議状況	3
(3)	教育委員会会議以外の活動状況	3
4	教育総合プラン 学びの基本理念に基づく取組状況	
(1)	基本理念Ⅰ 自立した人間をめざして	17
(2)	基本理念Ⅱ 心豊かに共生できる人間をめざして	26
(3)	基本理念Ⅲ 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って 行動できる人間をめざして	30
(4)	基本理念Ⅳ 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして	32
5	学識経験者による意見	34

1 はじめに

～海とみどりにひろがる交流 文化のまち 葉山～

この町に住む一人ひとりが人間的に豊かで幸福に生きていくためには、一人ひとりの「生涯にわたって学習し続ける意欲」とそれに応える行政の「学習・教育環境の充実」が必要不可欠の両輪であると葉山町教育委員会では考えています。そこで、町教育委員会では、一人ひとりが学習することの意義や学ぶ姿勢について、いつも意識できること、自らの学習意欲を主体的に形成できることを、教育行政の中心的な課題として意識しながら活動を行っています。

2 趣旨

葉山町教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の趣旨にのっとり、平成 26 年度を対象として教育委員会の活動内容をとりまとめるとともに、葉山町教育総合プランの重点目標に対する主な施策の点検と自己評価を行い、「教育委員会の点検・評価報告書」（以下「報告書」という。）を作成します。

また、点検・評価にあたっては、教育に関する学識経験を有する方からご意見を頂戴し報告書を、議会に提出するとともに、あわせて公表します。

参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

3 教育委員会の活動内容について

(1) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議については、原則として毎月1回「教育委員会定例会」を開催しています。

平成26年度中は、定例会を12回、また、臨時会を4回開催しました。さらに、教育委員会の会議のほかに、随時、研修会等を実施しています。

- ・教育委員会定例会・・・12回
- ・教育委員会臨時会・・・4回（4月、5月、8月、3月）

(2) 教育委員会会議での審議状況・・・資料1

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第25条及び「葉山町教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則」第2条の規定に基づき、平成26年度は、合計29件の議案について審議を行いました。

(3) 教育委員会会議以外の活動状況・・・資料2

平成26年度、教育委員は、教育委員会会議以外に、町議会、学校視察、各種行事等について、合計で143回の出席及び参加をしました。

【概要】

- ① 議会関係・・・・・・・・・・6回
- ② 校長会・教頭会への参加・・・17回
- ③ 各種行事・大会・・・・・・・・67回
辞令交付式、葉山町民マラソン、海水浴場開き、成人式、かながわ駅伝他
- ④ 学校視察・運動会等・・・・・・・・15回
- ⑤ その他会議等・・・・・・・・38回
神奈川県町村教育長会総会
神奈川県市町村教育委員会連合会総会・湘三管内教育長会議他

資料 1

平成 26 年度 教育委員会審議案件等一覧

【平成 26 年度 教育委員会会議 審議一覧】

議案番号	件 名	提出日
1	教育長の任命について	4 月 1 日
2	教育施設の工事計画（案）について	4 月 16 日
3	学校歯科医の解職について	4 月 16 日
4	学校歯科医の委嘱について	4 月 16 日
5	学校薬剤師の解職について	4 月 16 日
6	学校薬剤師の委嘱について	4 月 16 日
7	平成 26 年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第 2 号）） （案）について	5 月 21 日
8	平成 27 年度使用中学校教科用図書の採択について	7 月 16 日
9	葉山町指定文化財の指定にかかる諮問について	7 月 16 日
10	平成 27 年度使用小学校教科用図書の採択について	8 月 6 日
11	平成 26 年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第 3 号）） （案）について	8 月 20 日
12	平成 26 年度教育委員会の点検・評価報告書（平成 25 年度 対象）について	8 月 20 日
13	平成 27 年度使用小学校教科用図書（一般図書）の変更採 択について	9 月 26 日
14	平成 26 年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第 4 号）） （案）について	9 月 26 日
15	葉山町教育委員会委員長の選挙について	11 月 19 日
16	平成 26 年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第 5 号）） （案）について	11 月 19 日
17	平成 26 年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第 7 号）） （案）について	1 月 28 日
18	平成 27 年度教育予算（案）について	1 月 28 日
19	教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例について	2 月 18 日
20	教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例について	2 月 18 日
21	葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例及び 葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正す る条例について	2 月 18 日

22	葉山町議会委員会条例の一部を改正する条例について	2月18日
23	葉山町教育委員会会議規則及び葉山町教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則について	3月18日
24	葉山町教育委員会事務局設置規則等の一部を改正する規則について	3月18日
25	教育長の職務に専念する義務の特例に関する規則について	3月18日
26	葉山町社会教育委員の委嘱について	3月18日
27	葉山町指定文化財の指定について	3月18日
28	葉山町公立学校教職員の人事異動について	3月18日
29	葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について	3月20日

教育委員会会議での審議状況

■ 4月定例会

《議案第2号》教育施設の工事計画（案）について

名 称	予算額
長柄小学校、一色小学校トイレ改修工事	2,163,000 円
各小学校空調設備設置工事	277,279,000 円
各中学校トイレ改修工事	2,093,000 円
図書館非常用直流電源装置修繕工事	3,456,000 円

（趣旨）規則により、予定価格 100 万円以上の工事について計画内容を審議する。

○原案通り承認

《議案第3号》《報告第1号》学校歯科医の解職について

（趣旨）学校歯科医の辞職の申し出に伴う解職を行う。

○原案通り承認

《議案第4号》《報告第2号》学校歯科医の委嘱について

（趣旨）辞職に伴う学校歯科医の委嘱をする。

○原案通り承認

《議案第5号》《報告第3号》学校薬剤師の解職について

（趣旨）学校薬剤師の辞職の申し出に伴う解職を行う。

○原案通り承認

《議案第6号》《報告第4号》学校薬剤師の委嘱について

（趣旨）辞職に伴う学校薬剤師の委嘱をする。

○原案通り承認

・中学校給食について

■ 5月定例会

《議案第7号》平成26年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第2号））（案）について

歳出

事業名	補正予算額	説明
小学校管理事業	7,431,000 円	葉山小学校防球ネット設置工事

(趣旨) 町議会において、上記補正予算に係る議決を経ることについて意見の申し出を行う。

○原案通り承認

- ・中学校給食について

■ 6 月定例会

- 1 平成 25 年度全国学力学習状況調査結果の訂正について
- 2 平成 26 年度教育委員会の点検・評価報告書について
- 3 中学校給食推進委員会について

■ 7 月定例会

《議案第 8 号》平成 27 年度使用中学校教科用図書の採択について

(趣旨) 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づき教科用図書の採択をする。

○現在使用している教科書を引き続き採択することです承

《議案第 9 号》葉山町指定文化財の指定にかかる諮問について

(趣旨) 有形文化財として指定することについて、葉山町文化財保護委員会の意見を求める。

○原案通り承認

■ 8 月定例会

《議案第 11 号》平成 26 年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第 3 号））(案) について

歳出

事業名	補正予算額	説明
文化財啓発事業	333,000 円	森戸大明神ビヤクシン倒木防止対策事業補助金

(趣旨) 町議会において、上記補正予算に係る議決を経ることについて意見の申し出を行う。

○原案通り承認

《議案第 12 号》平成 26 年度教育委員会の点検・評価報告書（平成 25 年度対象）について

(趣旨) 規則により教育委員会の点検・評価報告書の審議をする。

○原案通り承認

■ 9 月定例会

《議案第 13 号》平成 27 年度使用小学校教科用図書（一般図書）の変更採択について

(趣旨) 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づき使用教科用図書の採択をする。

○原案通り承認

《議案第 14 号》平成 26 年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第 4 号））(案)について

歳出

事業名	補正予算額	説明
教育センター維持管理事業	1,890,000 円	保育園・教育総合センター昇降機修繕

(趣旨) 町議会において、上記補正予算に係る議決を経ることについて意見の申し出を行う。

○原案通り承認

■ 10 月定例会

- 1 平成 26 年度教育委員会の点検・評価報告書について
- 2 「国指定史跡長柄桜山古墳群に近接したトイレと案内道標の設置を求める陳情」について

■11月定例会

《議案第15号》葉山町教育委員会委員長の選挙について

(趣旨) 平成26年11月30日をもって任期満了する教育委員長の選任。

○委員長に鈴木伸久委員、委員長職務代理者に山崎勝美委員が選任された。

《議案第16号》平成26年度葉山町教育予算(一般会計補正予算(第5号))(案)について

歳出

事業名	補正予算額	説明
小学校教育振興運営事業	5,716,000円	教師用指導書一式

(趣旨) 町議会において、上記補正予算に係る議決を経ることについて意見の申し出を行う。

○原案通り承認

■12月定例会

- 1 第67回葉山町成人式について
- 2 かながわ学びづくり研究地域推進事業について
- 3 葉山町における小中接続・一貫教育について

■1月定例会

《議案第17号》平成26年度葉山町教育予算(一般会計補正予算(第7号))(案)について

歳入

名称	補正予算額	説明
がんばる地域交付金	4,208,000円	小学校管理事業(各小学校空調設備設置工事)

歳出

事業名	補正予算額	説明
小学校管理事業	-80,000,000円	各小学校空調設備設置工事・入札差金
小学校児童就学援助事業	622,000円	要保護・準要保護児童援助費の増加

中学校生徒就学援助事業	1,210,000 円	要保護・準要保護生徒援助費の増加
-------------	-------------	------------------

(趣旨) 町議会において、上記補正予算に係る議決を経ることについて意見の申し出を行う。

○原案通り承認

《議案第 18 号》平成 27 年度葉山町教育予算（案）について

(趣旨) 町議会において、平成 27 年度予算に係る議決を経ることについて、意見の申し出を行う。

○原案通り承認

■ 2 月定例会

《議案第 19 号》教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例について

(趣旨) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う教育長に関する条例を定める。

○原案通り承認

《議案第 20 号》教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例について

(趣旨) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う教育長に関する条例を定める。

○原案通り承認

《議案第 21 号》葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について

(趣旨) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、条例の一部改正を行う。

○原案通り承認

《議案第 22 号》葉山町議会委員会条例の一部を改正する条例について

(趣旨) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、条例の一部改正を行う。

○原案通り承認

■ 3月定例会

《議案第 23 号》葉山町教育委員会会議規則及び葉山町教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則について

(趣旨) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に基づき改正する。

○原案通り承認

《議案第 24 号》葉山町教育委員会事務局設置規則等の一部を改正する規則について

(趣旨) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に基づき改正する。

○原案通り承認

《議案第 25 号》教育長の職務に専念する義務の特例に関する規則について

(趣旨) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に基づき制定する。

○原案通り承認

《議案第 26 号》葉山町社会教育委員及び葉山町公民館運営審議会委員の委嘱について

(趣旨) 任期満了に伴う社会教育委員及び公民館運営審議会委員の任命を行う。

○原案通り承認

《議案第 27 号》葉山町指定文化財の指定について

(趣旨) 葉山町文化財保護条例の規程により、葉山町指定有形文化財として指定する。

○原案通り承認

《議案第 28 号》葉山町公立学校教職員の人事異動について

(趣旨) 規則により人事案件を審議する。

○原案通り承認

■第2回臨時会

《議案第1号》教育長の任命について

(趣旨) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律により教育長の任命について審議する。

○原案通り決定

■第3回臨時会

・中学校給食について

■第4回臨時会

《議案第10号》平成27年度使用小学校教科用図書の採択について

(趣旨) 規則により教科用図書の採択について審議する。

○採択した教科用図書を確認し採択を終了

■第1回臨時会

《議案第29号》葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について

(趣旨) 規則により人事案件を審議する。

○原案通り承認

資料2

教育委員会会議以外の活動状況

	各種行事・大会	そ の 他
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 辞令交付式 ・ 陸上競技講座 ・ 体育協会総会 ・ 春の交通安全運動キャンペーン ・ 青少年指導員委嘱式 ・ スポーツ推進委員委嘱式 ・ しおさい公園無料開放 ・ しおさい博物館企画展「桜—SAKURA—」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長会 ・ 教頭会 ・ 県市町村教育委員会連合会総会 ・ 初任者研修会
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陸上競技講座 ・ 海山に育ち親しむ子どもたち ・ スポーツオープンデー ・ しおさい博物館企画展「葉山にゆかりの画家たちⅠ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町臨時議会 ・ 租税教育推進協議会 ・ 校長会 ・ 湘三管内教育長会議 ・ 県町村教育長会春の総会並びに春季研究会 ・ 関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会 ・ 社会教育委員会 ・ 葉山地区PTA連絡協議会総会 ・ 町教科用図書採択検討委員会
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 葉山町民マラソン ・ 運動会（上山口小学校） ・ 運動会（長柄小学校） ・ 体育祭（南郷中学校） ・ 学校視察（上山口小学校） ・ 葉山自然観察隊 ・ バスケットボール講座 ・ しおさい博物館企画展「芝崎海岸の自然誌」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町議会 ・ 校長会 ・ 障害児就学支援委員会 ・ 青少年問題協議会 ・ 県・市町村教育委員会教育長会議 ・ スポーツ推進委員横三地区情報交換会
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海水浴場開き ・ 社会を明るくする運動 ・ 草津町親善水泳教室 ・ 海の学校（波乗り体験） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長会 ・ 教頭会 ・ 葉山町PTA研修会 ・ 葉山被害者支援ネットワーク総会

	<ul style="list-style-type: none"> ・しおさい博物館企画展「深海」 	<ul style="list-style-type: none"> ・町教科用図書採択検討委員会
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・海の学校（ヨット体験講座） ・学校プール開放 ・ジュニアキャンプ ・しおさい博物館企画展「深海」 	<ul style="list-style-type: none"> ・縣市町村教育委員会連合会役員会 ・湘三管内教育長会議 ・葉山町子ども議会
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練 ・体育祭（葉山中学校） ・葉山町青少年創意くふう展 ・秋の全国交通安全運動街頭キャンペーン ・剣道講座 ・しおさい博物館企画展「深海」 	<ul style="list-style-type: none"> ・町議会 ・校長会 ・教頭会 ・青少年問題協議会
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会（一色小学校） ・運動会（葉山小学校） ・学校視察（長柄小学校） ・学校視察（葉山中学校） ・学びづくり公開授業（葉山中学校） ・文化財講座 ・逗葉地区青少年音楽祭 ・南郷中学校吹奏楽演奏会 ・さわやか体験学習 ・ジョギング in はやま ・しおさい博物館企画展「葉山っこ名画伯展」 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会 ・神奈川県町村教育長会秋の総会並びに秋季研究会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校視察（一色小学校） ・学びづくり公開授業（葉山小学校） ・戦没者慰霊祭 ・文化財講座 ・しおさい公園無料開放 ・葉山町文化祭 ・しおさい博物館企画展「加藤栄三の世界 所蔵美術展」 ・総合防災訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会 ・縣市町村教育委員会連合会研修会 ・障害児就学支援委員会 ・県公立小学校横須賀地区小学校管理運営研究会 ・社会教育委員会

	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツオープンデー 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・人権を考える集い ・年末の交通事故防止運動街頭キャンペーン ・学びづくり公開授業（長柄小学校） ・学校視察（南郷中学校） ・しおさい博物館企画展「三浦半島の奇石 子産石とへそ石」 	<ul style="list-style-type: none"> ・町議会 ・校長会 ・文化財保護委員会
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・出初式 ・成人式 ・あいさつ運動 ・町小中学校作品展 ・葉山町民駅伝 ・三浦半島駅伝 ・町民スキー学校 ・しおさい博物館企画展「第2回葉山一色海岸アート展」 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会 ・教頭会 ・湘三管内校長研究会 ・障害児就学支援委員会 ・県町村教育長会研究会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・防災会議 ・葉山町民大学 ・学校視察（葉山小学校） ・あいさつ運動 ・かながわ駅伝 ・しおさい博物館企画展「関東大震災写真展」 	<ul style="list-style-type: none"> ・町議会 ・校長会 ・教頭会 ・三浦半島地区教育長協議会総会及び視察 ・県・市町村教育委員会教育長会議 ・文化財保護委員会
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校卒業式 ・中学校卒業式 ・辞令伝達式、辞令交付式 ・ジュニアリーダー養成講座修了式 ・公民館教室「ジュニアハンドベル」ロビーコンサート ・スポーツオープンデー（振替開催） ・しおさい博物館企画展「関東大震災写真展」 ・サイエンスカフェ 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会 ・教頭会 ・社会教育委員会 ・青少年問題協議会 ・青少年指導員定例会 ・文化財保護委員会 ・スポーツ推進委員定例会 ・古墳整備検討会

4 教育総合プラン 学びの基本理念に基づく取組状況

学習は、個人が自発的意思に基づいてより良く生きるためになされるものです。それにより一人ひとりの身体的・知的・情緒的・社会的行動が進歩し、調和のとれた人格が形成されます。また、教育は、一定の社会において個人に他から働きかけ、社会生活に必要な能力や資質を発達させる営みです。つまり「学習は自分づくり、教育は人づくり」といえます。

そこで、普遍的なこと、及び、現在の社会背景から生じている課題やこれから特に求められているであろうことを考慮しながら、学びを通してめざす人間像についての基本的な考え方を『基本理念』としました。そして、それを実現するために重点的に取り組むべき教育のあり方を『教育の重点』とし、今後の教育施策の基本方針としています。

この報告書においては、これら教育総合プランの4つの基本理念ごとに点検・評価を行い、主な活動状況、教育委員会での評価についてまとめました。

(1) 基本理念Ⅰ 自立した人間をめざして

重点：●家庭教育を充実しよう	●特別支援教育を大切にしよう
●幼児教育を充実しよう	●健康生活を推進しよう
●学校教育を充実しよう	●学びの場を充実しよう

【平成 26 年度の重点取組】

＜教育総務課＞

① 耐震整備事業

平成 26 年度の耐震整備事業としての、工事の実施はありませんでした。現在、児童・生徒が使用している構造体の耐震化率は、95.8%です。

また、非構造体の学校施設につきましては、各小中学校 6 校の屋内運動場天井等非構造部材耐震化工事実施設計業務委託を執行しました。

*上山口小学校旧校舎については、文部科学省が実施する「公立学校施設の耐震改修状況調査」において、毎年未耐震として報告していましたが、平成 27 年度の同調査で「児童生徒・教職員等が日常的に使用する建物」を調査の対象建物とするよう留意点が示されましたので、平成 27 年度からは、耐震整備の対象から除外され、構造体の耐震化率は 100%になります。

② 小学校空調設備設置事業

各小学校 4 校の普通教室等に空調設備を 124 台（104 室）設置する工事を実施しました。

③ 中学校給食

教育委員会での 3 回の審議を経て、原則完全給食を配膳型で実施する方法がより有効であると、まとめた意見書を町長に提出しました。

その後、教育委員会事務局を含め庁内関係部課長による「葉山町中学校給食推進委員会」を設置し、検討をはじめました。なお、委員会の庶務は、教育総務課及び学校教育課が担当しています。

＜学校教育課＞

④ 町費教員の配置

各小中学校 1 人、計 6 人を配置したことに加え、中 1 ギャップの未然防止や解消、及び教育課程における小・中学校の連携の推進を目的とした町費教員を 2 人配置し、指導体制の充実を図りました。

（合計人数：8 人、主な教科：算数・数学、英語、理科）

＊ 町費教員

安定した情緒のもとで確かな学力の向上を図るため、町費で任用する教員。専門的な教科の学習指導や、少人数指導、ティーム・ティーチング（TT）など、学習の目的や習熟の程度に応じた指導を実施している。

＊ 中1ギャップ

中学校への進学にあたり、学校生活や友人関係の急変、心身の急激な発達により、様々な面で不安定になること。文部科学省の調査では、不登校、暴力、いじめが、小学生に比べ中学1年生から急激に増えている。

⑤ 教育相談体制

教育相談体制を充実するため、各小中学校にスクールカウンセラー、心の教室相談員（中学校のみ）を配置するとともに、教育研究所に教育相談員を配置しました。

相談件数（件）

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
教育研究所	971	1,087	897
スクールカウンセラー	435	467	414
心の教室	1,237	1,027	746

不登校（人）・いじめ（件）

	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
不登校	9	12	9	10	12	9
いじめ	14	12	6	10	15	2

⑥ 特別支援教育

各小・中学校においては、自立に向けて、特別な配慮を必要とする児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の充実を図るため、校内の支援体制の整備や、適正な障がい児就学プロセスの保持、教職員の研修等を進めてきました。

また、葉山町発達支援システムにより教育と福祉の連携が密になり、合同で開催する個別ケース会議や連絡会等の取り組みが、学校におけるより適切な指導や支援に生かされています。

＊ 葉山町発達支援システム

発達障がい児者及び特別な支援を必要とする児者の早期発見、早期の発達支援を図るとともに、保健・福祉・医療・教育等が連携して一貫した相談・支援を行うためのシステム。平成22年4月制定。

⑦ 人権教育

児童・生徒がそれぞれの発達の段階に応じて、人権に関する基本的な理解を深め、人権尊重の意識を高めることにより、人権の大切さを共感的に受け止めるようになることは、きわめて重要です。こうした人権感覚を育む教育をすべての教育活動を通じて行うとともに、児童・生徒の人権に十分配慮し、一人ひとりを大切にすることを推進しています。そのために、人権教育担当者会を開催し、各学校の取り組みについて情報の共有化を図りました。また、上山口小学校・南郷中学校の教職員及び各学校の人権教育担当者を対象に2回の人権教育研修会を実施しました。

⑧ 防災教育

葉山町学校防災計画策定後、各学校が学校防災マニュアルの更なる見直しを行うとともに、これに基づく地震・火災を想定した訓練、予告なし訓練、引渡し訓練などを年4～5回程度実施しています。更に葉山小、一色小では津波を想定した高台等への避難訓練を実施するなど防災教育・避難訓練に力を入れています。

〈生涯学習課・しおさい博物館〉

⑨ 「葉山町民大学」の開催(全5回)

生涯学習の一層の充実を目指し、町民の高度な学習要求に応えるために、関東学院大学と提携し、町民大学を開催しました。

対象 : 町内在住・在勤者 参加者 : 71人

テーマ : 「互恵(レシプロシティー)と国際交流を考える」(パート2)

主な講座内容

「鎌倉時代の日元関係を考えるー蒙古襲来と日元貿易ー」

「(続)日本の近代化に貢献した連合王国のお雇い外国人ー明治維新政府がスコットランドで実現したレシプロシティー」

⑩ P T A研修会の開催

P T A活動の推進にあたり、活動に必要な知識や技術を習得するとともに、役員としてのあり方や、P T Aの今日的課題を正しく認識することを通して、P T A活動の充実が図れるよう、研修会を開催しました。

参加者 203人

学級委員会分科会テーマ：運動と子育て～4スタンス理論から考える～

広報委員会分科会テーマ：広報の作り方

校外委員会分科会テーマ：保護者が知っていて欲しい交通ルールについて

⑪ 公民館教室の開催

町民の学習のきっかけを作り、相互の親交を深めることを目的に、趣味・技能・教養等の各種教室及び講座を開催しました。

※主な教室

キッチンはやま

ジュニアハンドベル教室

パパと遊ぼう手遊び歌遊び 他12教室

全教室合計参加人数 331人

⑫ 学校施設等開放による活動拠点の提供

学校施設や図書館附属施設を、町民の団体活動の拠点として提供しました。

学校施設等開放利用団体登録数 78団体

図書館附属施設利用団体登録数 100団体

⑬ 学校体育施設開放による活動拠点の提供

学校教育上及び公益上支障のない範囲において小中学校体育施設を開放し、町民に、スポーツ・レクリエーションならびに生涯スポーツ活動を普及奨励しました。

学校体育施設開放利用団体登録数 73団体

⑭ 学校プール開放の実施

小学校のプールを開放して、児童の健康増進並びに泳力の向上を図るとともに、夏休みの親子・地域のコミュニケーションの場を提供しました。

(利用者：1,217人)

⑮ 少年少女スポーツ体験講座の開催

小・中学生を対象に、各種スポーツ体験講座を実施し、町内の児童・生徒

の体力向上と、スポーツの振興を図りました。

陸上競技講座（参加者：小学3～6年生 71人）

バスケットボール講座（参加者：小学1～6年生 37人）

剣道講座（参加者：小学1～6年生 15人）

⑯ 楽しく走ろう！ジョギング in はやまの開催

ジョギングの楽しさと身体に優しいジョギングの方法を知り、それを健全な身体づくりと体力向上に活かすことを目指して、開催しました。

（参加者：小学生以上 37人）

⑰ しおさい公園・博物館の充実

来園・来館される方々により親しまれ、喜んでいただける施設づくりを目指した取組みの結果、入場者は約2万2千人を超えました。

※ 主な内容

所蔵美術展等各種展示会の開催

ホームページ「しおさい公園だより」の充実

フェイスブックの充実

⑱ しおさい博物館展示解説及び学習支援

町内小中学校児童・生徒を対象に、展示解説・自由研究の相談を行いました。

（参加者：24人）

⑲ しおさい博物館学芸員等実習

学芸員資格取得希望者や高校生・中学生・教職員に各種実習を行いました。

学芸員実習（参加者：3人）

高校生インターンシップ（参加者：7人）

中学生職場体験（参加者：5人）

教職員5年・10年研修（参加者：4人）

⑳ 神奈川県立近代美術館葉山館・山口蓬春記念館との合同見学会

しおさい博物館・神奈川県立近代美術館葉山館・山口蓬春記念館の3館合同で見学会を行いました。

（全2回開催、参加者：64人）

㉑ サイエンスカフェの開催

しおさい公園内施設において、「足もとの外来生物」をテーマに、専門家を

招きカフェの雰囲気でお茶を飲みながら参加者と話をする「サイエンスカフェ」を開催しました。(参加者 32人)

<図書館>

②② ブックスタート

子ども育成課が実施する乳児（4か月児）健康診査時に保健センターで乳児と保護者に絵本の読み聞かせや図書館の紹介をして、本と親しむ環境づくりを通して親子のふれあいを深める取り組みを行いました。(毎月第1木曜日、参加者：203組)

②③ おはなし会

おはなしコーナーで絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊び等を行い、幼少時から読書に興味を持ってもらえるよう「おはなし会」を行いました。(毎週水曜日 40回、参加者：588人)

②④ 社会見学・職場体験学習

見学のしおりを作成し、小学校3年生の社会見学で施設の紹介をしました。(一色小学校3クラス 87人、葉山小学校3クラス 96人)

中学校2年生の職場体験学習を受け入れ、日常業務の実習をしました。

(葉山中学校 2日3人、南郷中学校 2日2人、沼間中学校 2日2人)

インターンシップを受け入れ、夏休みに実習をしました。(逗葉高等学校 4日2人)

②⑤ 絵本のパンフレット作成

幼児が興味を持つテーマ（乗り物・家族・動物・昔話）を選び、図書館おすすめ絵本の小さなパンフレットを作成し紹介しました。

【評価】

- 平成26年度の耐震整備事業としての、工事の実施はありませんでした。現在、児童・生徒が使用している構造体の耐震化率は、95.8%です。また、非構造体の学校施設につきましては、各小中学校6校の屋内運動場天井等非構造部材耐震化工事実施設計業務委託を執行しました。今後、順次、耐震化工事を実施していきます。
- 中学校空調設備は、数年前より普通教室に随時設置してきた経過があり、今年度は、各小学校4校の普通教室等に空調設備を設置する工事を実施しました。

平成27年度につきましては、各中学校2校の特別教室等に空調設備を設置する工事を実施していきます。

- 中学校給食推進委員会では、先進地の視察を行うなど、完全給食を実施する方向で、学校給食のあり方を議論してきました。

引き続き、平成27年度中の計画案策定に向けた検討を進めていきます。

- 教育環境の充実のため、学校の各種設備については、安全安心を第一に点検、整備を実施していく必要があります。

- 学校教育の充実については、町費教員が、安定した情緒のもとでの「確かな学力」の向上を不断に図るとともに、その専門性を生かして自由研究の指導を積極的に進めました。その成果もあり、国のSPP（サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト）の助成を受け、大学と連携してロボットを使った教育を実践するなど、児童・生徒の思考力、判断力、表現力の育成に寄与する取り組みを実施することができました。また、中1ギャップの未然防止や解消、教育課程における小・中学校の連携を推進するため、前年度後期は小学校に勤務し、翌年度前期は6年生が進学した先の中学校に勤務するという形態の町費教員配置を行うとともに、小学校と中学校の授業の接続に関する研究を進めた結果、互いの授業スタイルを知り、進学前後の時期には、授業にそのスタイルを取り入れることが有効であることがわかるなどの研究成果がありました。

今後、学校教育をより一層充実させ、小学校と中学校の教育課程における連携を進めるために、研究の成果を広く周知したり、人員や時間数を増やすなど、更なる取り組みと条件整備に努める必要があります。

- 近年の様々な教育相談に対応するため、スクールカウンセラーや心の教室相談員、教育研究所相談員による、きめ細かな教育相談体制を維持しています。これにより、中学校における不登校生徒が減少するなど、成果が見られましたが、小学校については不登校児童が増加するなど、課題が見られました。小学校における教育相談の取り組みの充実が求められます。いじめについては、早期発見、早期対応がいじめ解消の鍵となることから、いつでもどこでも起こりうるという認識に立ち、程度の大小にかかわらず、どんな小さいいじめも見逃さないよう学校を指導しているところです。

今後も子どもの心の安全・安心のため、教職員と一体となり、教育相談体制を維持・推進していくことが望まれます。

- 特別支援教育については、葉山町発達支援システムによる教育と福祉の連携のもと、改訂した相談支援ファイルを支援のツールとして周知するとともに、教育と福祉が連携して、日々の情報交換を行うほか、ケース会議及び連絡会を開くなど、児童生徒一人ひとりのニーズにより、対応した支援を進めています。インクルーシブ教育の理念に基づき、障がい児が交流学級で可能な限り積極的に授業に参加することができるよう、各小・中学校に介助員を派遣するなど、きめ細かな教育支援を行いました。今後は、教職員の研修等を通じて指導計画の実効性を高めていくことと、適正な障がい児就学プロセスの保持が、重要だと思われます。また、相談支援ファイルの活用方法について、学校と協議を進めていく必要があります。
- 人権教育担当者会では、各小・中学校の取り組みを交流することによって、指導計画や資料を共有することができ、各校の教育実践に生かすことができました。また、「ちがいを豊かさに～いろいろな人がいるあたり前の教室」、「在日朝鮮人の民族教育70年の歩み～民族教育って何？ 小さな出会いが大きなつながりへ～」をテーマに開催された人権教育研修会においては、教室におけるちがいを認める教育という視点に立った人権教育や、多文化共生について理解を深めることができました。これらのことは、各小・中学校における人権教育の推進及び充実につながっています。今後も、担当者会及び研修会等を継続していく必要があります。
- 3. 11 東日本大震災を受け、葉山町教育委員会が策定した学校防災計画を基に、各小中学校では、それぞれ学校防災マニュアルに基づく、避難訓練や防災教育を実施しました。具体的には、津波を想定して、校舎の屋上や高台への避難を取り入れた訓練を実施するなど、想定を超えた災害に対応できるよう取り組んでおります。訓練等を通して課題を明らかにし、よりよい防災教育・避難訓練につなげていくことが重要です。
- インターネット等の普及が目覚ましい昨今、「実物」を目の当たりにし、芸員から指導や研修を受けることのできる博物館は、町内でも指折りの視聴覚教育施設として、児童・生徒の学校教育課程のみならず成人の生涯学習の場としても、更に活用の度合いを広げていくべきだと思われます。また、地域博物館の特色である地元ならではの多くの資料を取り扱うことにより、郷土教育の一端を担う基盤的存在としての機能も大いに期待されます。
博物館などの諸施設が今後もより一層充実し、町民一人ひとりの「学びの場」として大いに活用されることが望まれます。
生涯学習については、毎回多くの受講希望者があり、人気の高い「葉山町民

大学」を開催し、学びの場の充実を図りました。今後は、受講生のアンケート結果や要望を踏まえ、町民大学のテーマ設定を工夫するなど、今まで以上の充実を図る必要があります。また、しおさい公園・博物館は、各種展示会を開催するほか、園内全ての管理も向上しており、その効果が表れてさらなる入場者増が期待されます。

- おはなし会やブックトークで、読書の楽しさを知らせます。広報活動をさらに拡大し、乳幼児と保護者に、絵本を楽しむ機会を案内するなど、図書館の利用へつなげる必要があります。小・中学生が図書館の業務などについての、理解を深めて読書活動を広げていくことができるようなサポートが必要です。

また生涯学習の場としての機能を高めるため、施設改修も計画的に行いながら「地域の図書館」としての役割を担っていく必要もあります。

(2) 基本理念Ⅱ 心豊かに共生できる人間をめざして

- 重点：●社会性を育てよう
- 学校間・校種間交流を促進しよう
 - 地域・世代間交流を促進しよう
 - 国際的な視野にたつ人間を育てよう

【平成 26 年度の重点取組】

〈学校教育課〉

① 小・中学校の連携

進学に備え、小学校 6 年生が中学校を訪問し、学校生活や部活動の見学・体験を行いました。

教育研究所では町費教員の協力の下、小中連携に関する連絡会を 9 回開催し、今後のよりよい連携に向け、課題を整理し研究を進めました。また、昨年度から継続し平成 26 年度も「かながわ学びづくり研究推進委託事業」の地域指定を受け、町内すべての小・中学校で、県教育委員会及び大学等との連携により校内研究を充実させるとともに、小・中学校の教職員が相互に研究授業を参観し、研究協議に参加しました。

② 「わかる！算数教室」の開催

葉山町教育研究所が主体となり、小学校 6 年生を対象に「わかる！算数教室」を 2 コース 5 日間開催し、延べ 16 人が出席しました。教材には、前年度の様子や、小中連携に関する連絡会での研究から、中学校でつまずきそうな範囲を想定し、例題・問題を作成しました。

③ 小学校外国語活動・中学校英語教育

小学校外国語活動でのよりよい授業づくりに向け、教育研究所が中心となり、夏季研修講座を実施するとともに、町小学校外国語活動研究会では、中学校英語教員と協同で、同研究会が作成した共通教材を使った授業研究を行いました。また、充実した活動や授業が行えるように、各小・中学校へ A L T を派遣するとともに、各小学校へはボランティアによる外国語活動サポーターを派遣しました。

* A L T (Assistant Language Teacher)

ネイティブスピーカーの外国語指導助手

④ 地域連携による学習の推進

地域との協同・連携を進め、葉山町の自然や環境・歴史や文化・社会活動などに関わる体験学習を推進しました。

<生涯学習課>

⑤ ジュニアキャンプ

夏休み中に国立中央青少年の家(御殿場市)でジュニアキャンプを開催し、他の学校の同年代の仲間や異世代の青少年指導員やジュニアリーダーとのふれあいを通して、子どもたちが集団生活における協力やルールを守ることの大切さを学ぶなど、自主性・協調性を育みました。

(参加者：小学5・6年生 40人)

⑥ 各種青少年体験事業

各種青少年体験事業では、子どもたちに、自然とふれあいながら様々な体験活動をする機会を作りました。「葉山自然観察隊」では、芝崎ナチュラルリザーブにおいて磯の生き物に触れたり、「さわやか体験学習」では、青少年指導員の指導により、ランプシェードを作りました。

葉山自然観察隊 参加者：小学3・4年生 19人

さわやか体験学習 参加者：小学4～6年生 34人

海の学校(波乗り体験)

参加者：小学校1年生～高校3年生、保護者 51人

海の学校(ヨット体験) 参加者：小学5・6年生 20人

海山に育ち親しむ子どもたち(里山管理体験)

参加者：小学4～6年生 43人

海山に育ち親しむ子どもたち(稚魚放流・潮干狩り体験)

参加者：小学1～3年生 154人

⑦ 逗葉地区青少年音楽祭

葉山中学校、南郷中学校、逗子中学校、久木中学校、沼間中学校、逗葉高校、逗子高校及び聖和学院中学校・高等学校の吹奏楽部が、葉山町福祉文化会館において演奏会を実施し、音楽を通じて交流を深め、音楽活動の振興と青少年の健全育成を図りました。

⑧ ジュニアリーダー活動

青少年が自ら進んで社会へ参加するための場所作りとして、ジュニアリーダー養成講座を開講し、リーダーとして必要な基礎知識・技術を習得し、子ども会等の地域活動にそれらを反映できるように指導・育成を行いました。

ジュニアリーダー養成講座 参加者：小学5・6年生 21人 全7回

<図書館>

⑨ 展示及び特集コーナーの資料紹介

毎月テーマを決めて、エントランスコーナーでの展示や貸出室本棚での特集資料紹介を実施しました。

テーマ：4月 老いを楽しむ、5月 町所蔵美術展、6月 気軽に読める大人本、7月 湘南・逗子・葉山の本、8月 かいのどうぶつえん、9月 私のベスト3、10月 芸術の本、11月 町所蔵美術展、12月 人権展、1月 美しい絵本・装画、2月 葉山町の歴史とくらし、3月 まるごと犬
貸出室に「堀口大學コーナー」を開設して資料を紹介しました。

【評価】

- 現在の少子化、核家族化の中で、心豊かに共生できる人間を育成するためには、学校・家庭・地域社会の三者が一体となり、さまざまな集団生活における人とのふれあいを通じ、子どもたちに社会のルールやマナー、自制心や責任感などを身につけさせていかなければなりません。校種間交流として、小学校6年生が中学校を訪れ、中学校の生徒会から学校紹介や部活動紹介を受けることで、中学校入学への希望を抱くことができ、今後も継続が望まれます。また、町立保育園児が小学校の音楽の授業に参加し、ともに合奏することは、互いのよさを感じ取るばかりでなく、小学校入学への期待を大きくすることのできる行事として評価できます。
- 小・中学校の連携に向けての取り組みでは、小中学校9年間を見通した教育活動を推進するため、教育研究所が中心となり、小学校での児童の様子、中学校での学習面の不安等を把握し、教育課程の研究を進めてきました。
また、「かながわ学びづくり研究推進委託事業」では小学校2校、中学校1校を拠点校として指定し、公開授業や研究協議に、小・中学校の教員が参加することを通して、学校間連携や小中連携による研究を進めることができました。また、各学校ではこの機会を使ってこれまでの校内研究を見直したり、さらに深めようとする意識が高まりました。
平成27年度は改めて葉山町学びづくり研究推進事業として、「確かな学力」の向上と、小中学校9年間を見すえた教育について研究や連携をさらに進めていきます。
- 教育研究所が主体となり、小中連携推進の一環として、中学校進学を控えた小学校6年生を対象に、春休みに「わかる！算数教室」を開催しました。参加者や保護者から「学習時間としてちょうど良かった」、「算数が苦手だっ

たのでこの企画は良かった」、「中学1年生対象の授業があると良い」等の感想が寄せられ好評でした。今後に向けては、課題を整理し、教材や授業方法に改善を加え、さらに充実した教室を開催していく必要があります。

○ 南郷中学校では、「葉山のよい暮らしを発見する活動」として、FGC (Find「発見する」、Good Life「よい暮らし」、Community「地域」) 活動が定着するとともに、葉山中学校でも「ふれあい講座」を行い、葉山まちづくり協会やボランティアセンター等の協力を得るなど、地域との協同・連携を進めました。このように葉山町の自然や環境・歴史や文化・社会活動などに関わる体験学習をすすめており、礼儀・マナーの習得も含め、学習の深まりが感じられます。

○ 小学校外国語活動・中学校英語教育の充実に向けての取り組みでは、教育研究所主催の夏季研修講座で、「Hi, friends につながるチームティーチング」をテーマに県立国際文化アカデミアの講師による研修会を実施しました。また、小学校外国語活動研究会では、近隣他市の状況把握や、中学校英語教員と連携した授業研究を行いました。さらに、ALT派遣や小学校外国語活動サポーターの協力により、子どもたちが積極的にコミュニケーションを図ろうとするなど、授業が充実してきました。

また、生涯学習の青少年育成の場としてのジュニアキャンプやジュニアリーダー活動などを通じて、学校間・校種間交流の充実を図りました。今後も継続が望まれます。

○ 毎月テーマを決めて、特集資料を紹介したり、普段見ることのできない所蔵美術品なども展示し、読書活動の推進を図りました。町制90周年を迎え「地域の情報の拠点」として、特徴をいかす取り組みに努めることが望まれます。

(3) 基本理念Ⅲ 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って行動できる人間をめざして

重点：●身近な視点から環境を考える力をつけよう
●自然環境を汚さない行動力をつけよう
●地球・生命を愛する心を伝えよう

【平成 26 年度の重点取組】

〈学校教育課〉

① 環境教育

学校給食の牛乳パックを再資源化するために、町内全小・中学校において、児童・生徒自身が解体・洗浄に取り組んでいます。

また、生ごみ処理機「キエーロ」を各学校に設置し、環境教育に活用しています。

〈生涯学習課〉

② 自然体験イベントの開催

「海山に育ち親しむ子どもたち～稚魚放流・潮干狩り体験」、「葉山自然観察隊」において、子どもたちが、山や海に親しみながら自然の大切さを学びました。

(里山管理体験 参加者：小学4～6年生 43人)

(稚魚放流・潮干狩り体験 参加者：小学校1～3年生 154人)

(葉山自然観察隊 参加者：小学3・4年生 19人)

【評価】

○ 日常取り組んでいるごみの分別・減量などとともに、身近な給食の牛乳パック再資源化に児童・生徒が自ら参加することや、家庭科の調理実習等が出た生ごみを「キエーロ」で処理すること、一部学校で導入された給食用生ゴミ処理機により生成された肥料を花壇に活用することなどを通して、環境への意識が高まりました。また、給食から出る総生ごみ量の7割～8割を生ごみ処理機に投入することにより、搬出するごみの量が減りました。

○ 各学校の環境に合わせて、地域の自然環境と人材を生かし、稲作体験や、水辺の環境調査、葉山メダカの飼育、漁業組合や民間の研究所の協力によるアマモなどについての学習などの活動が定着してきました。校内にビオトープを設置している小学校では、水生生物の観察を通して自然環境について学

習しています。また、野鳥の会と連携した野鳥教室を開催しました。今後も「葉山の自然研究会」などにおいて、よりよい教育活動を研究していく予定です。

青少年事業「葉山自然観察隊」では、町の文化財である芝崎の磯「ナチュラルリザーブ」に生息する生き物とのふれあいやその観察を通して、自然の豊かさや生き物同士の密接な関わり（生態系）について学ばせ、生き物を愛する心や自然環境を大切にすることを育んでいます。今後は、「感謝の念を持つモラルあふれる人間性の育成」に向け、さらに踏み込んだ取り組みを検討していく必要があります。

(4) 基本理念Ⅳ 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして

重点：●家庭から地域（葉山）へ、そして世界へ

●社会変化に対応する力を育てよう

●新たな教育にチャレンジしよう

【平成 26 年度の重点取組】

＜学校教育課＞

① 情報教育

デジタルテレビや電子黒板といった I C T 機器を使った授業について、研究や研修、実践を行いました。また、児童・生徒に携帯電話の正しい活用法を習得させるため、児童生徒指導担当が携帯電話会社と協力し、情報モラル教育に関する授業を行いました。

また、広域での効果的な情報教育を研究している、横須賀市、三浦市、葉山町からなる「三浦半島地区教育ネットワーク協議会」に、平成 24 年度から逗子市も加わり、より広域での研究会や研修会を開催しました。

② 職場インタビュー・職場体験学習の実施

子どもたちが将来自立した社会人となるため、学校、家庭・地域社会において、勤労や職業に積極的に関わりながら「学ぶこと」や「働くこと」の意義について考えることができるように、中学校で職場インタビュー・職場体験学習を実施しました。

③ 小中学校作品展

各学校の教育活動を基にして、その成果発表の場として、小中学校作品展を開催しました。来場者 2,704 人。

＜生涯学習課＞

④ 郷土の歴史・文化の保護

町の貴重な文化遺産である国指定史跡長柄桜山古墳群の恒久的な保護を図るため、整備工事を実施しました。また、町天然記念物「森戸大明神のビャクシン」の保存修理に対する補助金や、町指定文化財の維持管理の向上を促進するため奨励金を交付し、郷土の歴史・文化の保護に努めました。

⑤ 郷土の歴史・文化の学習

文化財啓発事業として、葉山町文化財研究会の協力により「文化財講座」を実施しました。また、教育委員会が所蔵する民具や長柄桜山古墳群の学校見学

にあたって、葉山町文化財研究会や長柄桜山古墳をまもる会をガイド団体として紹介したほか、長柄桜山古墳群について職員による出前授業を行いました。

文化財講座 参加者20人

学校授業における文化財活用

古墳の出前授業、見学のガイド紹介（葉山小、一色小、上山口小）

所蔵民具見学のガイド紹介（長柄小、上山口小）

【評価】

○ 現在の情報化社会では、ICT機器の使用に関わり、その利便性とともな危険性についての教育が必要です。それらを踏まえて有効に活用することにより、時代に合った情報教育の可能性が広がる一方、常に新たな課題への対策が必要となりますが、近隣市町と連携を深め、情報機器を活用した授業実践報告会に町情報教育研究会として参加することで、情報教育の研究がより充実したものとなりました。

今後とも近隣市町との連携の下、進歩のきわめて速いICT環境の変化に合わせ、最新の情報を学校現場へ提供していくことが必要です。また、携帯電話、スマートフォン等情報端末を所有する小中学生の増加に伴い、その使用についての情報モラル教育の必要性が高くなっています。既に、学校では警察や企業貢献活動による児童・生徒、保護者を対象とした研修会を実施していますが、購入時に児童・生徒、保護者がよりよい使用に関する約束をすることも大切であることから、学校と保護者が連携して対策を講じることが必要です。

○ 職場インタビューや職場体験学習を実施することは、子どもたちが「学ぶこと」や「働くこと」の意義を理解するとともに、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を高め、それぞれが将来直面するであろう様々な課題に柔軟に、かつ、たくましく対応し、社会人・職業人として自立した人になっていくための一助になっており、「生きる力」を育てるものとして評価することができます。しかし、職場体験を受け入れる事業所の負担について、配慮する必要があります。

○ 小・中学校作品展では、児童・生徒が他校の作品を見ることで、お互いのよさを認め合うとともに、創作意欲を向上させ進級・進学への期待感を育てる機会となっています。また、来場者は2,700人を超え、地域の方々からも教育活動を知る機会として好評であり、継続が望まれます。

5 学識経験者による意見

「教育委員会の点検・評価報告書」についての所見（平成 26 年度事業対象）

今井 利典（元葉山町立一色小学校長）

1 教育委員会の活動内容について

（1）教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は、平成 26 年度は月 1 回、計 12 回の教育委員会定例会と、4 回の教育委員会臨時会・研修会等の開催が報告されており、妥当な回数と考えます。

（2）教育委員会会議での審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 25 条及び「葉山町教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則」第 2 条の規定に基づき、平成 26 年度は合計 29 件の議案について適切かつ慎重審議が行われている。また、定例会の各回において教育長の報告事項がなされており、葉山町の教育行政に係る具体的な成果や今日的課題について共通理解を深める会議となっており、その議事録についても適正に作成ならびに公開されていることは評価できます。

（3）教育委員会会議以外の活動状況

教育委員の教育委員会会議への出席以外の活動として、町議会関係、校長会・教頭会、学校視察・運動会、各種行事等について、143 回の出席及び参加が報告されている。学校・地域等の教育活動の実際を把握する教育委員会会議以外の本活動は、喫緊・短期・中期・長期的課題解決に向けた教育施策を着実に実施していく上で、極めて重要です。教育委員各位の積極的な姿勢に敬意を表します。

2 教育総合プラン 学びの基本理念に基づく取組状況について

(1) 基本理念Ⅰ 自立した人間をめざして

重点：●家庭教育を充実しよう	●特別支援教育を大切にしよう
●幼児教育を充実しよう	●健康生活を推進しよう
●学校教育を充実しよう	●学びの場を充実しよう

【平成 26 年度の重点取組】

〈教育総務課〉

① 耐震整備事業

児童・生徒や町民の安全・安心の観点から、上山口小学校第一校舎を除く構造体の耐震化率が 100 パーセントとなったことや、引き続き町民の避難所となる屋内運動場天井等の耐震化工事についても計画的に実施されることは評価できます。今後は、上山口小学校第一校舎の活用についての検討が急務と考えます。併せて、学校の老朽化に伴う補修等、計画的な施設整備を望みます。

② 小学校空調設備設置事業

近年の気候変動に伴う初夏から初秋にかけての気温上昇は、児童の健康にも少なからず影響を及ぼしています。これまで教室内に扇風機を設置するなど環境改善への対応が図られておりましたが、校舎構造等の要因により著しい改善策とはなっておりませんでした。そこで各小学校の普通教室等（104 室）に 124 台の空調設備が設置され、これにより良好な学習環境がもたらされるとともに、なによりも児童の健康生活を保持する環境整備が実現されたことは高く評価できます。今後も、本事業の維持・充実に期待するところです。

③ 中学校給食

健康生活を推進するために「食育」は重要です。その観点から社会状況の変化に応じた中学校給食のあり方を教育委員会と町部局が一体となり検討を開始したことは評価できます。是非、中学校の教育内容やカリキュラムを尊重しながらの検討をお願いします。

〈学校教育課〉

④ 町費教員の配置

児童・生徒の学習意欲をより高め、基礎学力の確実な定着を図るためには、習熟度や発達段階に即した教育指導が必要であり、町費教員の派遣はチームティーチング等、各学校の実情に応じたきめ細やかな教育指導の一助とな

っており、着実に成果を上げていることは高く評価できます。子どもたちが主体的な学びの連続性を確実に身に着けることは、生涯学習社会の構築に不可欠なことであり、葉山町の公立小中学校において実施されている算数－数学科の連続した教育指導を行うための小・中連携町費教員（2人）の成果に基づき、他教科も視野に入れた町費教員の派遣拡充を期待したい。

⑤ 教育相談体制

平成26年度の教育相談件数は、スクールカウンセラーが414件、心の教室相談員（中学校のみ）が746件、教育研究所の教育相談員が897件と報告されている。相談者の主訴が多様であること、福祉や医療機関との連携が必要となる相談が増加していること、改善まで長期的に対処する必要がある事例が多いこと、訪問相談の必要性が高まってきていること等から、引きこもり児童・生徒に対応するための新たなスクールソーシャルワーカーの確保や、発達に関する専任相談員の増員も含めた教育相談体制の一層の充実が望まれます。また児童・生徒の心の問題を早期に解決するため、教職員研修やケース会議の充実が図れるようお願いします。

⑥ 特別支援教育

『基本理念Ⅰ 教育の重点4』の具現化として、すべての小・中学校において行われている、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育指導を可能にする充実した介助員制度や校内の支援体制の整備は高く評価できます。更に、インクルーシブ教育の理念に基づき、通常級に在籍する発達課題を有する児童・生徒への支援についても、葉山町発達支援システムを活かした学校のニーズに基づく支援体制も評価できます。一層の充実が図られることを期待しています。また、適正な障がい児就学プロセスの保持、教職員の研修等については、教育相談体制の充実や校内通級制度の確立とも相まって、今後も継続していただきたい。

⑦ 人権教育

豊かな人権感覚は、より良い人間社会を構築するうえで必要不可欠です。ことに幼児期から青年期においての家庭・学校・地域が一体となった人権教育は重要となります。人権教育担当者会が中心となり、小・中学校が共通理解のもと教育実践を行っていることは評価できます。一案として、学校における研修会への保護者等の参加による人権教育の深化を図り、児童・生徒の実践力の育成を協働して行うことも検討していただきたい。

⑧ 防災教育

葉山町学校防災計画を基にした各学校の学校防災マニュアルによる避難訓練や防災教育が着実に実施されていることは、児童・生徒の安全とともに地域の安全・安心の観点から評価できます。今後は、想定を超えた災害への対応策や、避難所運営の具体的なシミュレーションを通して、学校・家庭・地域の連携が一層深められることを期待しています。

<生涯学習課・しおさい博物館>

⑨ 「葉山町民大学」の開催

関東学院大学と提携し、年5回開催され多くの受講者があったことは、町民の学びの場・学習機会の充実の点から高く評価できます。今後も、町内の研究機関との連携も視野に入れながら、充実していくことを期待しています。

⑩ P T A研修会の開催

P T A活動の今日的課題に基づく研修内容を取り上げていることから、保護者の主体的な学習の場になっていることは評価できます。継続していただきたい。

⑪ 公民館教室の開催

1 2種の教室に3 3 1人の参加者があったと報告されています。町民の学習のきっかけづくりとともに、学習の場を提供するうえでも高く評価できます。

⑫ 学校施設等開放による活動拠点の提供

⑬ 学校体育施設開放による活動拠点の提供

⑭ 学校プール開放の実施

⑮ 少年少女スポーツ体験講座の開催

⑯ 楽しく走ろう！ジョギング i nはやまの開催

⑫～⑯について

町民にスポーツを通して、生涯にわたる心身の健康づくりを支援する事業であり、利用団体登録数・学校プール開放利用者数・講座等参加者数からも今後も継続していただきたい。

⑰ しおさい公園・博物館の充実

⑱ しおさい博物館展示解説及び学習支援

⑲ しおさい博物館学芸員等実習

⑳神奈川県立近代美術館葉山館・山口蓬春記念館との合同見学会

㉑ サイエンスカフェの開催

⑰～㉑について

来園・来館者が約2万2千人を超えたことに敬意を表します。更に、博物館機能及び企画展示の充実やサイエンスカフェの開催等、周知を図る上でも学芸員または事務等の職員増員が望まれます。また、サイエンスカフェの開催は博物館の特色を生かし、親しみを持ってもらう観点から素晴らしい企画であり、定期的な開催が望まれます。児童・生徒への展示解説や学習支援を実施していくことは、『基本理念Ⅲ』の具現化に向けた意義ある博物館の活動であり、高く評価するとともに、継続して頂きたい。

<図書館>

- ㉒ ブックスタート
- ㉓ おはなし会
- ㉔ 社会見学・職場体験学習
- ㉕ 絵本のパンフレット作成

㉒㉓㉕について

子ども育成課・保健センターと連携した「ブックスタート」は、乳児と保護者に親子のふれあいを深めつつ、本と親しむ環境づくりへの有意義な取り組みとなっており、継続していただきたい。また、毎週水曜日（年40回）に実施された「おはなし会」は、幼児期における家庭教育の有り様を伝える素晴らしい事業です。併せて「絵本のパンフレット作成」という支援を行ったことは高く評価できます。昨今、子どもたちの内包言語量の減少が社会的課題となっており、その解決策としても大いに期待できます。また、この活動を更に充実するため、夏季休業期間中の小学校学校図書館の活用について検討していただきたい。

㉔について

児童・生徒が、生涯学習の大切な場であることについての理解を深める上で意義ある活動であり、継続してもらいたい。また、高校生のインターンシップを実施したことは素晴らしいことです。

(2) 基本理念Ⅱ 心豊かに共生できる人間をめざして

- 重点：●社会性を育てよう
- 学校間・校種間交流を促進しよう
 - 地域・世代間交流を促進しよう
 - 国際的な視野にたつ人間を育てよう

【平成 26 年度の重点取組】

〈学校教育課〉

① 小・中学校の連携について

中学校の生徒会が中心となり、小学校での説明会や中学校訪問時の部活の紹介を通して、小学校 6 年生の中学校訪問が行われていることは大変好ましく、継続していただきたい。

小・中連続したカリキュラム開発を教育研究所が中心となって具体的な研究を進めていることは評価できます。ことに、算数－数学科という教科を限定して実践研究する中で整理された課題を施策に反映されるよう期待しています。また、小・中学校の教員が共同で、「かながわ学びづくり研究推進委託事業」として県・町教育委員会及び大学等との連携により「確かな学力」の向上に関する実践研究を充実させていることは高く評価します。是非、今後も継続していただきたい。

② 「わかる！算数教室」の開催

葉山町教育研究所の主催で、小中連携のための町費教員や所員による小学校 6 年生を対象にした「わかる！算数教室」が 2 コース 5 日間開催された。小中連携に関する連絡会での研究を生かした例題・問題による学習を実施したことが報告されている。中学校数学科教員の参加もあり、小中連携推進の具体的な取り組みとして高く評価したい。また、6 年生以前の学習補完の必要性や中学校 1 年前期のフォロー等の必要性も指摘され、開催時期や対象者の増加を見込んだ指導者や財源の確保が必要となっている。

③ 小学校外国語活動・中学校英語教育

平成 23 年度から必修となった小学校 5、6 年生での外国語活動について、小・中学校教員が協同で共通教材を使った授業研究が行われたことは意義深い。ことに県立国際文化アカデミアと連携したアクティビティ中心の授業法研修は、『基本理念Ⅱ 教育の重点 4』の「国際的な視野にたつ人間を育てよう」を基にして、これまで行われてきた葉山町の英語教育を更に充実していく上でも評価できます。更に充実した活動や授業が行えるように、ALT や外国語活動サポーターの拡充が望まれます。

④ 地域連携による学習の推進

町内小・中学校において、地域との協同・連携を進め、葉山町の自然や環境・歴史・文化・社会活動など、地域特性を生かした各校の特色ある体験学習活動が積極的に行われていることは高く評価したい。

<生涯学習課>

- ⑤ ジュニアキャンプ
- ⑥ 各種青少年体験事業
- ⑦ 逗葉地区青少年音楽祭
- ⑧ ジュニアリーダー活動

⑤～⑧について

これらは『基本理念Ⅱ 教育の重点1・2・3』を網羅した活動となっており、青少年指導員・ヨット関係者・体育指導関係者・音楽指導関係者等々、活動を支援してくださる方々に感謝するとともに敬意を表します。ことに⑤ジュニアキャンプや⑧ジュニアリーダー活動は、次世代の育成とともに地域・学校種・学年・世代を超えての交流の場として貴重であり、評価できます。また、⑥各種青少年体験事業における体験活動は葉山町だからこそできる素晴らしい内容であり、一層の充実が望まれます。その為にも、民間活動団体やNPOへの委託等が可能となるよう検討する必要があると思われまます。

<図書館>

⑨ 展示及び特集コーナーの資料紹介

毎月テーマを決めて行われたエントランスコーナーでの展示や、貸出室本棚で特集の資料紹介は大変工夫されており、高く評価します。蔵書等の資料保管に遺漏のないよう、計画的な施設改修も望まれます。

(3) 基本理念Ⅲ 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って行動できる人間をめざして

重点：●身近な視点から環境を考える力をつけよう

●自然環境を汚さない行動力をつけよう

●地球・生命を愛する心を伝えよう

【平成 26 年度の重点取組】

〈学校教育課〉

① 環境教育

各学校の状況に適した実践的で多様な環境教育が行われ、地域や民間機関の支援を得て成果を上げています。生ごみ処理器「キエーロ」を各学校に設置し、ことに小学校において搬出するごみの減量化が図れたことは、日常的なごみの分別や牛乳パックの再資源化活動とともに「身近な地域で行動する力」を育成しているものと評価できます。

〈生涯学習課〉

② 自然体験イベントの開催

「海山に育ち親しむ子どもたち～稚魚放流・潮干狩り体験」、「葉山自然観察隊」は各回とも多数の参加者があり、体験を通して「身近な視点から環境を考える力」「自然環境を汚さない行動力」そして「葉山を愛する心」の育成に即応した事業構成として高く評価します。更に充実することを期待しています。

(4) 基本理念Ⅳ 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして

重点：●家庭から地域（葉山）へ、そして世界へ

●社会変化に対応する力を育てよう

●新たな教育にチャレンジしよう

【平成 26 年度の重点取組】

〈学校教育課〉

① 情報教育

今日の社会、ICT環境は急速に変化しています。文部科学省は「学びのイノベーション事業」による情報端末やデジタル教科書・教材を使った授業についての研究を進めており、葉山町においても今後あらゆる教科に求められるであろうアクティビティ・ラーニングにおける活用研究を進める必要があります。葉山町・横須賀市・三浦市・逗子市からなる「三浦半島地区教育ネットワーク協議会」等の教育研究・研修は、広域での協力体制を確立する

うえで重要なことであり、情報教育機器等の整備充実と併せて継続すべきと考えます。

また、児童・生徒の情報リテラシー能力の育成や、SNSの急激な普及に応じて、人権教育としての情報モラル習得を児童・生徒及び保護者に行う必要性が高まっています。外部機関と協力し、情報モラル教育に関する授業が行われていることは評価できます。

② 職場インタビュー・職場体験学習の実施

『基本理念Ⅰ』とも関連した中学生の職場インタビュー・職場体験学習は、生徒の社会認識を深め、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を育成する絶好の機会となっています。これまで同様に継続実施されていることは高く評価します。受け入れてくださる方々やコーディネートする教員の尽力に感謝いたします。

③ 小中学校作品展

児童・生徒が、お互いを認めあうことによって一人ひとりの自己肯定感を高めることのできる、町内小中学校が一堂に会しての発表の場があることは意義深い。2,700人を超える来場者ということからも、家族・地域の暖かな交流の場となっており、高く評価します。なお、継続実施にあたり、管理員等の人員確保も必要となっています。

<生涯学習課>

④ 郷土の歴史・文化の保護

⑤ 郷土の歴史・文化の学習

④⑤について

葉山町『学びの憲章』にある「葉山を愛し、世界を拓こう」を実現するためには、郷土の歴史や文化を理解することが不可欠です。国指定史跡長柄桜山古墳群を初めとする文化財・文化を取り上げた保護・啓発事業が実施されていることは評価できます。ことに、葉山町文化財研究会との連携や、見学会や出前授業といった学校の授業支援を通じた啓発活動は大切であり、継続していただきたい。

3 『報告書』を読んでの所感

平成26年6月20日に公布され、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号）」が本年4月1日より施行しま

した。痛ましいいじめ自殺事件を契機に行われた今回の改正は、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、地方公共団体の長と教育委員会との連携の強化、地方に対する国の関与の見直し等制度の抜本的な改革を行うとしたものです。「総合教育会議」の新設等、新たな対応が求められているわけですが、今回の点検・評価報告書や教育委員会会議録等から拝察するところ、葉山町においては町民の教育に対する期待感にできる限り応えようとする教育行政実態が伺え、既にこれらの改正趣旨を概ね実施している感があります。そこで未来を担う子供たちの学校事故防止については、これまで同様、町当局と一体となって危険予知に基づく危機管理を行うよう、切に願うところです。

“海とみどりにひろがる交流 文化のまち 葉山”に住む一人ひとりが学びあい、幸福に生きていくことをめざす「葉山町教育総合プラン」に基づき、多岐にわたる事業が継続的かつ着実に実施されています。ことに、厳しい財政状況下においても、良好な学習環境を提供すべく小学校に空調設備を設置したことに敬意を表します。今後も引き続き、生涯学習も含めた学校・地域等の教育活動の実際を把握し、学習者を支援する立場から、教育環境整備をきめ細やかに行っていただければ幸いです。

学校教育においては、児童生徒の「確かな学力」の定着・向上こそが主たる責務です。その為には、教員の指導力向上に資する日常からの実践研究や指導法研修が不可欠であり、平成 25 年度から 26 年度にかけて葉山町全体の小中学校が合同で行った「かながわ学びづくり研究推進事業」は高く評価できます。今後は「葉山町学びづくり研究推進事業」として継続される実践研究の更なる成果に期待するところです。また、若手教員の授業力向上や、英語教育・道徳の教科化等の国の教育動向を見据えた研修の充実も望まれます。更に、多様化する今日的な教育上の諸課題に対応できる研究・研修の実施も必要であり、以上の点から、例えば、教育研究所と学校教育課を兼務する研修指導主事の増員が望まれます。

また、子どもたちの心に生じた悩みは、早期に解決することが重要です。学校においては教職員が、家庭においては保護者が、いち早く予兆を察知し、関係者が協力して解決の手助けを行う必要があります。そこで、教職員には「子どもたち一人ひとりと向きあえる時間の確保や教育相談に関する研修の充実」が、また、児童・生徒・保護者には「いつでも相談できる教育相談体制の確立」が、これまで以上に求められます。ことに発達に関する教育相談は、乳幼児期から児童期・青年期へと連続したきめ細やかな対応が必要不可欠であることから、町部局と教育委員会が連携し、例えば『たんぼぼきょうしつ』に専任の相談員を配置するなどの方策が考えられます。今後の教育施策に反映していただければ幸いです。

（はじめに）

“海とみどりにひろがる交流 文化のまち 葉山”に相応しく多岐に渡って様々な事業を展開されてきた葉山町教育委員会の活動に深く敬意を表します。言うまでもなく、葉山町民が人間的に豊かで幸福に生きていくためには、一人ひとりが生涯学習への意欲とそれに応える行政の学習・教育環境の充実が必要不可欠であります。この度、平成26年度事業を対象とした葉山町教育委員会の点検・報告書作成にあたり、教育委員会活動状況と「教育総合プラン」の学びの基本理念に基づく取組状況に対する意見を、町内の小・中学校に勤務した一教員の立場から述べさせていただきます。

1 教育委員会活動内容について

教育委員会の開催状況と審議状況は、定例会・臨時会、共に妥当であると思います。しかし、会議以外の活動状況を見ると、各種行事・大会への出席回数が増加傾向にあり、他の業務への影響が憂慮されます。もし、このまま増加傾向が続くならば、各種行事・大会への出席については、基準を設けることも検討すべき事柄ではないでしょうか。

2 教育総合プラン 学びの基本理念に基づく取組状況について

（1）基本理念Ⅰ 自立した人間をめざして

重点：●家庭教育を充実しよう	●特別支援教育を大切にしよう
●幼児教育を充実しよう	●健康生活を推進しよう
●学校教育を充実しよう	●学びの場を充実しよう

【平成26年度の重点取組】

〈教育総務課〉

- ① 耐震整備事業は他の市町村に先駆けて、葉山町が以前から取り組んできたことであり、先の東日本大震災では各小・中学校が避難所として有効に活用され町民の信頼を得たことは記憶に新しいこととあります。加えて、来年度から構造の耐震化率が100%となることは高く評価できることと思います。小・中学校を今後も地域の防災拠点として考えていくなれば、施設・設備面での更なる充実を図る必要があると思います。

- ② 各小学校の空調設備工事等をはじめ、各種施設・設備の設置や修繕は非常に重要であり、児童・生徒の日常生活が大きく改善されたことは保護者や教職員からも高く評価されていることと思います。昨今の葉山町の厳しい財政事情を考えると、教育委員会の努力を感じるどころです。
- ③ 中学校給食については、数年かけて慎重に検討が行われてきたと認識しています。しかし、各小学校の給食施設の老朽化も目立っており、食の安全と食教育の推進という観点から、町内全体の学校給食について、早急にその対応を示す必要があると思います。

<学校教育課>

- ④ 町費教員の配置については各学校において一定の役割が定着し、児童・生徒の確かな学力向上に寄与しております。事業としては今後も継続していくことを望むと同時に、教育課題解決のため重点配分を含めて効果的な指導の在り方を考えていく状況にあると思われまます。
- ⑤ 葉山町では保育園・教育総合センターの完成と合わせて、教育と福祉の連携という取組を進めてきました。就学前から義務教育終了後も相談に応じる等、長期間に渡って子どもの成長を見守り、手厚いサポート体制を組んできました。葉山町発達支援システムは、現在も障がいを抱えている児童・生徒、保護者の心強い支えとなっております。今後も、このシステムを継続、発展させてほしいと思っています。
- ⑥ この間、中学校における教育相談体制の充実は図られてきましたが、小学校における教育相談体制は、まだまだ不十分であるといえます。特にスクールカウンセラーの経験や対応に差が生じないようにすることが重要です。また、「いじめ、不登校」等の教育課題解決のためには、カウンセラーと連携した校内の指導体制づくりが必要です。保護者対象の講演会等も有効な手立ての一つといえるでしょう。

<生涯学習課・しおさい博物館>

- ⑦ しおさい博物館や県立美術館を活用した生涯学習の更なる充実を図ると共に、「本物に触れる」という観点から、地の利を生かしたワークショップを学校内外の教育活動へ積極的に取り入れてほしいと思っています。まさに、葉山の自然や文化に触れる絶好の機会にして頂きたいと思っています。

(2) 基本理念Ⅱ 心豊かに共生できる人間をめざして

- | |
|--|
| 重点：●社会性を育てよう
●学校間・校種間交流を促進しよう
●地域・世代間交流を促進しよう
●国際的な視野にたつ人間を育てよう |
|--|

【平成 26 年度の重点取組】

〈学校教育課〉

- ① 葉山町では、20 年以上も前から小・中学校の教員が連携し、進学を控えた 6 年生の中学校訪問活動を実施してきました。生徒会役員の学校紹介や部活動の見学・体験を通し、小学生の中学校進学への不安解消の一助になっていました。また、継続して実施していく中で、中学生の学校生活への意識向上に繋がるものとなりました。今後も小・中連携の原点としてこの活動を継続し、有効なものにしてほしいと思います。
- ② 「わかる！算数教室」の開催については、現在このような講座の必要性和有効性を感じています。全国的に格差社会の拡大とか格差と学力には関係があるという報道がなされています。他の市町村で見られるように、葉山町でも教育の機会均等の維持という点から、ボランティア組織の立ち上げを含めて継続的に且つ日常的に支援ができる体制を考える時期が来ていると思います。
- ③ 小学校外国語活動・中学校英語活動において、指導面から ALT は無くてはならない存在となっており、継続が必要です。

(3) 基本理念Ⅲ 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って行動できる人間をめざして

- | |
|---|
| 重点：●身近な視点から環境を考える力をつけよう
●自然環境を汚さない行動力をつけよう
●地球・生命を愛する心を伝えよう |
|---|

【平成 26 年度の重点取組】

〈学校教育課〉

- ① 各学校では総合的な学習の時間を使い、地域の自然環境と人材を生かして、米作り、環境調査、アマモの生育等の学習が行われています。
しかし、地域の人材に頼っているところがあり、今後のことを考えると教育委員会として何らかのサポートが必要になってくると思います。

- ② 環境教育については現在の取組を維持すると共に、ゴミ問題の方向性が一定明らかになった段階で、改めて各小・中学校での資源の再利用や取組を考える必要があると思います。

<生涯学習課>

- ③ 「自然観察隊」「稚魚放流・潮干狩り体験」「海の学校」等の各種青少年体験活動は葉山町の特色を生かした貴重なものとなっております。葉山の自然に親しみ、故郷と言える葉山に繋がる良い事業だと思います。

(4) 基本理念Ⅳ 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして

重点：●家庭から地域（葉山）へ、そして世界へ

●社会変化に対応する力を育てよう

●新たな教育にチャレンジしよう

【平成 26 年度の重点取組】

<学校教育課>

- ① ICT 機器を使った授業については徐々に実践が広がっていますが、現在、情報ツールとしての携帯電話や PC 等の改良に学校が追いついていけないという状況があります。小学校高学年や中学校に PC やタブレット等の最新の機器を導入するなど、情報教育の環境づくりを早急に進める必要があると思います。

(おわりに)

現在の葉山町はまとまりのある適度の規模であり、今後もその葉山町の規模を生かした教育施策が実施されるべきと思っています。

しかし、国・県レベルでの各種調査などの要請や一部保護者の過度の要求等もあり、葉山町教育委員会として学校教育に影響が出ないような対応が望まれます。

今の学校には「授業づくり」「学年・学級づくり」「人間関係づくり」に専念できるような学校支援体制づくりが必要ではないでしょうか。

葉山町教育委員会委員（平成 27 年 3 月 31 日現在）

職 名	氏 名
委 員 長	鈴 木 伸 久
委員長職務代理者	山 崎 勝 美
委 員	遠 藤 麻 衣 子
委 員	小 峰 み ち 子
教育長	返 町 和 久

平成 27 年度教育委員会の点検・評価報告書（平成 26 年度事業対象）

発行者 葉山町教育委員会教育部教育総務課

〒240-0112

神奈川県三浦郡葉山町堀内 2, 050 番地の 9

電 話 046 (877) 5100 (直通)

F A X 046 (876) 1861

Eメール : kyouikusoumu@town.hayama.lg.jp